

新華ファイナンス／MNI 業況判断調査

1月業況判断は小幅改善

上海（2008年1月25日） - 中国ビジネスコンサルタント大手の新華ファイナンス（東証マザーズ:9399）と、同社系列のニュース部門であるマーケット・ニュース・インターナショナル（MNI）が実施した1月の中国業況判断調査によると、強弱要因が混在しているものの、総合業況判断は全般的にやや改善しました。

企業の財務状況は改善しており、1月の業況判断は全般的に改善しましたが、新規受注は減少し、元相場の上昇による負担の高まりを指摘する企業数が増加しました。

今回調査で企業の財務状況改善が示された背景のひとつには、受領価格現状判断があります。1月の同指数は63.52で、2005年1月の調査開始以降で最高の水準を付け、価格転嫁が前月より進捗した企業数が増加したことを示しています。

ただし、調査結果は懸念にもつながりました。企業は引き続き仕入れコストの上昇にさらされていますが、今回の調査期間の半ばには、政府が、価格転嫁を制限する一種の統制策を施行すると発表しました。

1月の調査は、1月7日-22日の期間にサンプリングされました。

2005年1月に開始された同業況判断調査は、中国経済を正確に把握し、経済状況全般の流れを予想し、政府による経済指標の発表に先行して貴重な情報を提供してきました。同調査は、経済の転換局面、例えば昨年夏の景気減速および秋口以降の立ち直り局面などで、特に有効性を発揮してきました。

新華ファイナンス/MNI 中国業況判断調査、完全版をご希望の方、そして新華ファイナンスやマーケット・ニュース・インターナショナルに関する詳細をご希望の方は、mni@xinhuafinance.comまでお問い合わせください。



新華ファイナンスについて

新華ファイナンス・リミテッドは、中国随一の金融情報およびメディアサービスを提供する企業で、東京証券取引所マザーズに上場しています（コード：9399、ADR：XHFNY）。

中国の金融市場と世界とを結ぶ架け橋として、金融機関、事業会社、情報配信業者などに対して、インデックス、格付、金融ニュース、IRサービスなどの商品を提供しています。また、子会社である新華ファイナンス・メディア（米国ナスダック：XFML）を通して、中国国内のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、屋外メディアなどのメディアに独自のコンテンツを提供しています。グループの設立は1999年11月で、上海の事業本部をはじめとして世界11ヶ国にオフィスやニュース支局を構えています。

詳細は、ウェブサイト：www.xinhuafinance.comをご参照下さい。

マーケット・ニュース・インターナショナルについて

マーケット・ニュース・インターナショナル（MNI）は、新華ファイナンス（www.xinhuafinance.com）の子会社で、世界の債券と為替市場に特化した金融ニュースおよび情報サービスを提供しています。2004年3月に新華ファイナンスの傘下に入ったMNIは、特殊専門分野でのノウハウと大規模な配信ネットワークを新華ファイナンスにもたらしめました。本社をニューヨークに置き、欧米およびアジア各地に支局を展開しています。金融市場の専門家向けに20年以上にわたって提供しているサービスの信認は厚く、ホワイトハウス、米連邦政府、米上下院、主要な政府機関や立法機関、G7各国の政府機関での取材を認可されているほか、世界銀行やIMFといった国際機関でも取材認可を受けています。